

第3回「障がい者施設で働く職員と利用者のための心身健康セミナー」

体験しませんか？

心地良い居場所「スヌーズレン」

心をほぐし一人ひとりの楽しみ方に寄り添う

～スヌーズレンの体験と実践事例から基礎的概念を学ぶ～

●スヌーズレンって？

スヌーズレンは、オランダで1970年代に始められた障がいのある方との関わり合い(relationship)の理念です。

スヌーズレンルームの中でパートナーは、治療効果や発達支援を一方向的に求めることはせず、障がいのある人のオープンな楽しみ方をありのままに受け入れ、一緒に楽しみます。それは、障がいのある方が、自分で選択し、自分のペースで楽しむための、人生の大切な時間なのです。

最近では、認知症高齢者、精神障害者、小児病院、幼稚園、町のコミュニティセンターなどにも広がり、あらゆる人が利用する、心地よい時間を過ごす場と認知されるようになってきています。

今回のセミナーではスヌーズレンの体験と基礎的な学習に加え、実際に使用した事例の報告を行います。

皆様、是非ご参加ください。

日程 2月20日(水) 16:00～ スヌーズレンルーム・オープン
17:00～ ワークショップ
18:15～ 講演
19:15～ 事例発表
19:45 終了

会場 サンパール荒川 第二・第三会議室

定員 50名程度

対象 障がい者施設で働く方々、スヌーズレンに興味のある方、一般の方

参加費 無料

講師 講演・ワークショップ 東洋大学 ライフデザイン学部 人間環境デザイン学科
准教授 博士(人間科学)
嶺 也守寛(みね やすひろ)氏

主催 あらかわモデル創造プロジェクト

協力 東洋大学、ISNA日本スヌーズレン総合研究所、マインドテクノ株式会社
荒川区社会福祉協議会、荒川区立荒川生活実習所

問い合わせ先 nagai@aoitori.org(あらかわモデル創造プロジェクト事務局 長井)

本事業は、2018年度「みずほ福祉助成財団」の助成を受けて実施しています。



託児あります♪



講師プロフィール

嶺 也守寛(みね やすひろ)東洋大学 ライフデザイン学部 人間環境デザイン学科 准教授 博士(人間科学)

国が行う職業訓練の施設(高齢・障害・求職者支援機構)に19年間に在籍した後、2013年より東洋大学 ライフデザイン学部人間環境デザイン学科に着任する。専門は、福祉デザイン工学。

所属学会:日本機械学会、日本リハビリテーション工学協会、義肢装具学会、ライフサポート学会、ISNA 日本スヌーズレン総合研究所。現在、ISNA 日本スヌーズレン総合研究所にて事務局長、サポート研究員、スヌーズレン器材研究開発、機関誌編集委員、資格認定委員を担当している。現在の研究分野は、①スヌーズレン器材の開発、②義肢装具の評価(動作分析・歩行分析)、③フランス語圏の高齢者・障害者福祉施策に関する調査研究を行っている。